

別添 6 展示プラン作成要領内想定什器一覧

記号	名称	数量	サイズ	仕様	備考
A	色見本チップ提供什器	1点	提案による	木製またはアクリル製（補充が容易な構造）	クジ箱状など提案可。チップは約13×60mm想定。角の面取り、厚み・重量バランスに配慮。
B	色見本チップ配布趣旨サイン	1点	A3程度（提案による）	アクリル板またはパネル印刷	「A」の近傍に設置。
C	色見本(カラーチャート)パネル	3枚	提案による	B2判相当	白いパネルにカラーチップを貼り付けて制作。
D	寝転がり鑑賞用敷物	3箇所	作品リスト・図面にに基づき提案	畳／ござ／カーペット	縁はつれ防止とつまずき配慮。靴の着脱動線とベビーカー待機位置を区画。畳優先だが段差安全確保。難しい場合は段差のない素材を採用。
E	毛氈	1点	参考図面・作品リストNo.14、15に適合	毛氈（伝統的な赤または空間に調和する色）	
F	双眼鏡	2点	—	倍率6-8倍、最短合焦2m以下(希望)、実視界6° 以上、重量500g以下、眼幅調整可	子どもから大人まで扱いやすい軽量機種。
G	双眼鏡置き台	2台	採用双眼鏡が収まる寸法を提案	木製	盗難防止ワイヤー組込み。高さ目安800-1000mm。使用方法サイン（A5縦）を側面／上面に掲示。
H	双眼鏡観察サークル	2箇所	直径1.0～1.5m程度を目安に提案	ビニールテープまたはカッティングシート	床面を傷つけない素材・施工。サークル内に案内表示設置。
I	閲覧テーブル	1点	H720×W1200×D600mm程度（提案による）	木製推奨。天板は汚れに強い材（木部クリア塗装／メラミン化粧板等）	椅子使用前提で足入れ可。
J	複製資料	1点	作品No.22に含まれる平面資料を原則原寸大で複製。各B4判程度。	撮影したものを印刷によって制作すること。約70ページ。鑑賞者の閲覧に供する方法は提案による。	複製物の作成方法は、事業者は作品について実見などの上詳細を把握し、撮影方法などについては安全かつ高精度に作れる方法を提案すること。
K	展示台（平面）	1点	作品No.24、25に適合。座位鑑賞に適した高さを提案	木製推奨。実体顕微鏡（他所より借用予定）を2台乗せる構造。顕微鏡のステージ部分に作品資料を載せてアクリルケースを被せる。盗難防止機構を組込み	実体顕微鏡の仕様は別途通知。
L	展示台（斜面）	1点	作品No.26-29の額装サイズに適合。上面傾斜10-15度	木製推奨。スタンドルーベ置き場・盗難防止機構を組込み	額装サイズは要指定。
M	スタンドルーベ（非照明）	2点	—	倍率5～8倍、レンズ径750-1100mm、クランプ固定式もしきはスタンド式のアーム型もしくはグースネック型ルーベ。ネック長500mm～。	照明付きのものでも構わないが使用しないので電源コードを切断する。スタンド式の場合は動かないよう足を机に固定すること。
N	14インチタブレットとその台	1セット	台は高さ90cm。	タブレットはフルHDで2分程度の動画をエンドレス再生できるもの。台は木製でタブレット(横向き)を垂直でセットして画面を鑑賞できるもの。	
O	スポットライト（手元スイッチ操作）	5作品分（各1灯）	—		足元インラインスイッチで踏んでいる間のみON。スイッチは床を傷つけない方法で固定。各器具は作品面100lx以下に調整・実測・マーキング。配線は美観と安全性、法規に準拠。操作サイン設置。
P	バリケード（導線・離隔確保）	一式	参考図面にに基づき提案	木製推奨（転倒しない構造）	暗所が苦手な来館者向けに境界へ遮光カーテン等を設置し通り抜け導線を確保。
Q	懐中電灯の受取・返却台	1台	提案による	木製推奨	盗難防止と管理しやすい構造。注意事項サイン設置。
R	暗幕	2枚	(各)幅8m、高さ4m	天井から吊す暗幕で、反対側の照明を完全に遮光できること。	
S	遮光プレート	天井および床面：各2枚 パネル間の隙間：2箇所	天井および床面：(各)長さ7800mm×幅100mm パネル間の隙間：(各)長さ385mm×幅100mm	反対側からの照明が漏れないよう、パネル(幅390cm)を2枚並べた壁面の、天井と床面に接する部分およびパネル間の隙間に貼付固定するプレート。木製。	表面はパネルに貼付しても違和感がないよう水性塗料でグレーに塗装。遮光が完全にできるならプレートは分割式でも構わない。
T	触察前提の展示台（武田 浪作品）	1点	作品No.46に適合。高さ750-850mm	木製推奨	立位触察前提。テグス等で上面固定できる仕様（固定作業は本業務外）。
U	触察前提の展示台（神山 清子作品）	—	作品No.47-52用の必要面積（例：000×000mm）。高さ750-850mm	—	立位触察前提。テグス等で固定できる仕様（固定作業は本業務外）。
V	触察前提の展示台（卷子サンプル）	—	必要面積（例：000×000mm）。高さ750-850mm	—	触って鑑賞することを前提。テグス等で固定できる仕様（固定作業は本業務外）。
W	触察前提の敷物（屏風サンプル）	1箇所	作品リスト・図面にに基づき提案	毛氈もしくはカーペット	鑑賞者が上に上がり、屏風サンプルを払げたり閉じたりして触って楽しめるスペース。
X	作品を自撮りできる台	1点	提案による（安定性のある構造）	—	スマートフォン設置可。ヴォワイヤンの椅子は館側用意。作品保護のため椅子との距離配慮。撮影方法・注意事項のサイン設置。